



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No138号 2022 10 26

発行責任者
会 長 山本 静子
編集責任者
事務局 長 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

リハビリテーション
学習会

ピアサポートで助けあい

「自分自身の反省に気づく」

令和4年9月18日（日）午前13時30分～16時、赤い羽根共同募金助成事業として、高次脳機能障害リハビリテーション学習会が、ZOOMにて開催され、38名が参加しました。

講師は中塚圭子先生（言語聴覚士）で、「ピアサポート（仲間同士の支え合い）で地域がつながる」と題して講演をお世話になりました。

さくらの会は、ZOOMにて参加できない方7名が、福知山市総合福祉会館にてスクリーンを見て参加しました。



日々の生活の中での変化を共に見つめて行く良い機会だったと思います。

（ S・Y ）

参加者の声 変化を共に見つめて

たくさんの当事者の方と接し、支援者として色々な体験を通してお話して頂き分かりやすく良かったです。

自分自身の反省にも気づきました。

頼まれていないアドバイスはしない。

出来ないことを求めすぎ、いらいらしていた。

出来ることを認めてあげる。



交流会など計画決定

さくらの会は10月15日夜7時から、ZOOMで第1回役員会（6名参加）を開催し、今後の計画等について打合せしました。

第1回役員会 討議の結果、今後の行事計画について、以下のとおり決まりました。

当事者・家族の交流会

令和4年11月13日（日）

10時～14時

場所：サクラティエ

（綾部市青野町西青野18）

内容：当事者と家族のグループに分けて交流会を行う。

（次ページへ）

前ページから)

- ・当事者グループ：進行役は綾部市立病院の古川絵美様にお願いしています。
- ・家族グループ：世話役にて進行

時間予定

10時～11時 当事者、家族グループに分け交流会

11時～12時 全体の交流会

12時～13時 (昼食)

ランチ1,000円程度

(当事者は500円)

13時～14時 交流は自由 解散
＜参加申し込み＞

丹後：野村俊彰 舞鶴：大槻節子

綾部：山本静子 福知山：上原榮

11月7日(月曜)までにお願ひします

あかし 損保主催の学習会

第26回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション学習会(損保講演会)

【日時】令和4年12月11日(日)

13時30分～16時 ZOOM

第1部の講演会

：「岩手発 当事者・家族・支援者が共に歩むピア事業」

講師は轟木知佳先生(栃内第2病院
リハビリテーション部臨床心理科主任)

第2部のシンポジウム

高次脳機能障害の4つの参加団体(高次脳機能障害支援「家族会 里山」、高次脳機能障害サポートセンター、高次脳機能障害 当事者会アンサーズ、京都市高次脳機能障害支援センター)から報告があります
(別添 チラシ参照下さい。)

綾部市でも講演会

「他の障害と比較」

「地域と共に」



「高次脳機能障害」と
「コミュニケーション」について

(綾部市主催・市民向け講演会)

日 時：令和4年12月18日(日)

13:30～15:30 受付13:00～

会 場：綾部市ものづくり交流館
多目的ホール

テーマ：

「高次脳機能障害について
地域と共に支えあうために」

～高次脳機能障害とその他の障害を
比較しながら～

講 師：関西科学福祉大学 保健医療学部
本多伸行 先生

問い合わせ先：

綾部市役所障害者支援課

☎0773-42-4254

(別添 チラシ参照下さい。)

【編集後記】
▼暑かった夏も過ぎ、
コロナもやっと落着
き、さくらの会も少
しづつ動き出しまし
た。▼グループ訓練
でお世話になった、
本多先生と綾部市の
講演会で、十二月に
出会える事を楽しみ
している▼要介護1・
要介護2が、介護保
険の適用されなくな
る、そんな動きがあ
る▼高齢者が多くな
り、利用者が増える
▼デイサービス、リ
ハビリはすべて自費？
掃除や買い物もすべ
て自費？▼ボランティア
は、減少、地域で
助けあいもどこまで
できるのか？▼一人
ぼやく今日この頃。
心も身体も、病気に
負けないことかな